

指定管理業務評価表

施設名	小牧市西部コミュニティセンター		
対象年度	令和4年度	評価担当部	健康生きがい 支え合い推進部
指定管理者名	小学館集英社プロダクション・ダイケングループ (法人番号：9010001018924・9010001122288)		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員：3人 非常勤職員：7人 合計：10人		

1. 利用実績

(1) 利用者数

	施設利用者	個人利用者	自由来館者	合計
4月	7,771	67	460	8,298
5月	7,642	82	537	8,261
6月	8,293	59	682	9,034
7月	8,292	96	495	8,883
8月	7,684	106	381	8,171
9月	7,720	91	560	8,371
10月	7,497	88	876	8,461
11月	8,403	75	622	9,100
12月	7,498	45	541	8,084
1月	7,246	49	1,129	8,424
2月	7,750	56	681	8,487
3月	6,560	64	1,559	8,183
合計	92,356	878	8,523	101,757

(2) 増減要因

令和4年度の合計利用者数は101,757人となり、前年度と比較して20,385人増(前年度比125.1%)となった。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大による利用制限があったため、施設利用者が平年より減少していたものの、令和4年度は利用制限がなくなった。また、イベントの開催方法を工夫するなどにより、利用者数の増加となった。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和4年 7月	回答数	153名
	令和5年 1月		133名
利用者の 主な意見	新しい予約システムがわからない。 予約が取れたのか確認する必要があり面倒になった。		
具体的な 対応状況	システムの変更により不慣れな利用者さんに対し、指定管理者独自でスマホ講座等を実施している。並行して従来どおり、窓口での予約も実施していることを周知しあらゆる世代が使いやすい施設運営に取り組んでいる。		

3. 収支の実績

(単位：千円)

		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)	備考 (主な内訳、増減 要因)
収入	指定管理 料	41,358	43,580	45,900	
	事業収入	0	0	0	
	合計	41,358	43,580	45,900	
支出	人件費	19,629	20,039	20,351	
	旅費	34	25	25	交通費等
	需用費	7,633	9,140	10,601	光熱水費・修繕費等
	役務費	484	537	496	通信費・手数料等
	委託料	6,034	6,318	6,281	清掃警備委託等
	使用料及 び賃貸料	1,477	1,424	1,421	借上料、受信料等
	その他	6,067	6,097	6,725	間接費等
	合計	41,358	43,580	45,900	

4. 評価

項目	市の評価
運營業務	協定書、事業計画書に沿った施設管理が実施されている。 休館日等を利用して設備点検や害虫駆除などの維持管理業務が計画どおり実施されている。

維持管理 業務	<p>清掃管理については、業務委託による清掃のほか、施設職員により日頃から清潔な施設を保つよう努められており、利用者アンケートにおいても清潔で気持ち良いといった意見もあり、良い評価が得られている。</p> <p>施設の安全管理については、施設職員による自主点検が定期的に実施されており適正に管理されている。</p>
自主事業	<p>HARU祭り等、地域の住民から再開を望まれていたイベントを実施され、盛況であった。新型コロナウイルス感染症対策に配慮したイベント開催や、未活用土地を利用したSDGs食育プログラム（サツマイモやジャガイモの栽培）といった、地域の住民を巻き込んだ新たな活動も実施され、利用者数の回復に努められていることが評価できる。今後とも施設利用者数の増加に努められたい。一方で長く自粛期間が求められていたため、解散された地域の団体等が複数あり、利用者・利用率の低下要因になっている。</p> <p>令和5年度も引き続き、各行事の実施にあたっては、地域と連携のうえ、施設利用者の回復・増加に繋がるような事業の企画・実施に努めること。</p>
サービスの 質	<p>利用者アンケートの結果から利用満足度のほか、職員の対応や施設設備についても利用者から良い評価が得られている。今後も利用者がより快適に利用できる施設となるようサービスの質の向上を図るよう努めること。</p>
収支状況 及び 経費節減	<p>収支状況については、一部の費目において流用があったが、計画的かつ適正に執行されている。</p> <p>引き続き、経費節減に努めること。</p>
その他 (緊急時の 対応等)	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、施設職員による貸館利用後の消毒対応など、感染防止対策を適切に実施された。安全・安心に利用できるように配慮された。</p> <p>危機管理マニュアルの内容を全職員が定期的に確認し、マニュアルを基に研修・訓練を実施している。</p> <p>また、防災訓練や不審者対応訓練の実施など、児童館と連携した安全管理体制が構築されている。</p>